

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
田んぼにGO！畑にGO！		南区役所企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	H30	R1	R1
南区の特色である豊かな農空間を活用し、農作業を通じて広く交流するとともに、自然あふれる南区の魅力の周知を図る。	鉢ヶ峯寺の田畑で、小学生以上の方を対象に6月に田植え体験を行い、10月に稲刈り及びさつま芋掘り、えだまめ取りの収穫体験イベントを行う。 ※令和2年度は、新型コロナウイルスの拡大防止のため、田植えイベントを中止	参加組数(応募組数)	田植え43組(55組) 収穫67組(73組)	田植え47組(60組) 収穫45組(75組)	収穫15組(46組)
		アンケートによる満足度の測定(よかったの割合)	田植え 100% 収穫 100%	田植え 100% 収穫 100%	収穫 100%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 南区の特徴である豊かな農空間を活用した当該事業は、旧村地域とニュータウン地域の交流を促進するほか、南区の魅力を発信することができるため、区として実施する妥当性は高い。	○ 田畑の利用や、農業指導など、地元の農業従事者の協力なくしては実施できない事業である。	◎ 豊かな農空間が広がる南区ならではの事業である。特に子どもにとっては普段なじみのない農作業を体験することで、強く印象に残る思い出となり、ふるさと意識の醸成につながっている。また、実際に収穫したものと同じ上神谷米やさつまいもなどを家庭で実際に食べることができることから、参加者にとってのインパクトは大きい。	○	受益者負担の考えから、参加費を徴収しているが、多くの応募があり、アンケートにおいても高い満足度を維持している。今後も引き続き、参加費や参加特典内容などの精査を行い、より一層の効率化を図る。	
⑤自立発展性	総合評価				
- 当該事業は豊かな農空間という南区の特性を活かして地域間の交流を図り、南区の魅力を発信する目的で実施しているものであるため、区として実施すべき事業である。	○	収穫体験では定員数を超える多くの応募をいただいた。アンケート結果についても全員に「よかった」と回答していただき、昨年度に引き続き満足度の高いイベントとなっており、初めての参加者のうち、80%を超える割合で、当イベントによって南区に豊かな農地があることを初めて知った、あるいは初めて来たという回答結果から、本事業により南区の豊かな農空間の魅力発信につながった。また、今年は昨年課題としていた電子申請システムによる申し込みを取り入れ、46組のうち90%を超える41組の利用があった。			
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	例年であれば、南区内だけでなく南区外からも多くの申込み・参加がある事業であるが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定員人数を減らし、区内の方のみを対象とした。このことにより、当事業を通じて南区の魅力を発信するにあたり、その対象者数や範囲が狭まった。今後同じように新型コロナウイルスの影響が続く見込みの中で、実際に参加した方だけでなく、参加できなかった方に対して、いかに南区の豊かな農地や当事業のことを情報発信していくか、広報紙やホームページだけでなく、SNSほか様々な媒体の活用も含め検討する必要がある。				